

支援プログラム名称

Nakanoshima Qross におけるスタートアップ育成加速事業

支援プログラム実施期間

令和7年7月1日 ～ 令和8年3月31日

支援プログラムの概要

背景

今後、更に激化する先端医療・ヘルスケア産業領域にかかる国際競争を大阪・関西が勝ち抜き、次世代産業を興すためには、有望なソリューションを有するヘルスケアスタートアップ企業のサービス展開に向けた実証取組支援、国内外企業や自治体等とのマッチング・共創機会の提供、伴走支援を行い、スタートアップ企業の育成を加速することが必要である。こうした取り組みを推進するために大阪府が中心となり、2024年に未来型医療、次世代型ヘルスケアサービス開発をリードするスタートアップ企業の育成加速拠点としての Nakanoshima Qross が整備された。

目的

医療機関、PMDA、研究組織、医療系企業が一つ屋根の下に集積し、一気通貫で研究開発を臨床応用・社会実装につなげることが可能な Nakanoshima Qross の強みを活かし、令和7年度はプログラム医療機器等を含む医療機器を中心としたサービス開発を進めるアーリー期以降のスタートアップ企業の育成加速を実現する

支援プログラム対象事業区分

〈実証実験支援〉

スタートアップ企業は、常に実証取組の「場」及び、「ユーザー」を獲得することが困難であるという課題を抱えている。この課題を解決するために大阪府内の自治体、医療機関、健康経営実践企業等との連携を仲介し、スタートアップ企業に実証取組の「場」を提供するとともに、「ユーザー」を集める取り組みを支援し、スタートアップの次世代サービスの開発・改良、薬事承認取得のための効果検証、市場展開につながる機会を創出

する。

【目標：年 5 社の実証取組を支援】

申請額：70,000,000 円

〈マッチング・共創機会の提供〉

スタートアップ企業は、常にサービス開発、改良、展開のための実証取組の「資金」を調達することが困難であるという課題を抱えている。この課題を解決するためにベンチャーキャピタル、金融ファンド、国内外投資家とのマッチングイベントの実施を通じて資金調達につながる商談機会を提供するとともにスタートアップ技術の社会実装実現に向けた連携先となりうる企業、組織、団体との共創機会とそのための「場」を提供する。

【目標：年間 7 回の小規模(10 名ワークショップ)・中規模(20-30 名)イベントを開催
年間 1-2 回の大規模イベント(100 名規模)を開催】

申請額：30,000,000 円

〈伴走支援〉

スタートアップ企業は、薬事承認取得、会社立上げ、経営管理制度の整備、労務管理基盤の整備、営業機会の開拓など多岐にわたる課題を抱えている。これらの課題解決を支援するため、有望なシーズを持つスタートアップを選定し、経営課題を分析した上で、分析結果に基づく処方箋を作成し、One on One でのメンタリング・ハンズオン型伴走支援を行う。

【目標：年 10 社の有望なスタートアップへの伴走支援を実施】

申請額：30,000,000 円